

1. 科目名（単位 数）	心理学研究法（4単位）	3. 科目番号	PSMP3143 PSMP3122 EDPS3301
2. 授業担当教員	古谷 大樹		
4. 授業形態	講義・実習・演習(ディスカッションを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	心理学入門、心理学概論、統計学、心理統計法、心理学基礎実験の全てを履修済みであること。		
7. 講義概要	心理学は、具体的に見ることのできない人の心を対象としていることから、一般の人にも興味を持たれやすい学問であり、身近なもののように思われる。しかし学問としての心理学は実証科学としての性格を持っており、具体的に見ることのできる対象を扱う自然科学の方法論と共通するところが多い。そのため、心理学を研究する際、具体的に見ることのできない心を見えるようにするための工夫が求められることから、人の心という対象を実証科学的に扱う方法は、本質的な難点を伴っている。 そこで、本科目では、心理学を科学として研究するための代表的な方法である実験法、調査法、観察法、検査法、面接法等について、それぞれの長所短所の両面、並びに研究における倫理を学び、実践するための質及び量のデータを用いた実証的な思考方法を身につけることを目指す。		
8. 学習目標	1.科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的研究方法(量的研究および質的研究)の手順を理解する。 2.心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。 3.心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、自ら考え、実践できるようになる。 4.心理学研究における倫理とそれを遵守することの重要性を理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	授業の内容に関するレポートを数回提出してもらう。そのため、毎講義のアサイメントが重要となる。		
10. 教科書・参考 書・教材	教科書：なし。 参考書：心理学研究法（ライブラリ心理学の杜 3） 本多 明生他 サイエンス社 2022 年		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1.科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的方法の手順を理解していること 2.心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できること 3.心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、倫理的な問題を含めて、自ら考え、実践できること ○評定方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加)30%、グループ発表 30%、試験(小テスト、課題レポート)40%として算出した合計得点により成績評価を行う。		
12. 受講生への メッセージ	心理学における一般的な研究方法について講義していく。研究方法の説明及び実践を重視する講義であり、毎回の講義がとなるため、1 回 1 回の講義を真剣に受講することを求める。		
13. オフィスアワー	初回講義時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	心理学研究法概要	事前学習	心理学研究法について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 2 回	調査法（概要）	事前学習	調査法について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 3 回	調査法（質問紙の作成方法）	事前学習	何を対象に質問紙を作成するか考える。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 4 回	調査法（質問紙の分析方法）	事前学習	何を対象に質問紙を作成するか考える。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 5 回	調査法（質問項目の作成）	事前学習	質問紙の項目を考える。
		事後学習	質問紙の項目を考える
第 6 回	調査法（データの分析）	事前学習	質問紙の項目を考える
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 7 回	調査法（グループ発表準備）	事前学習	データの分析を行う。
		事後学習	発表できるように準備をする。
第 8 回	調査法（グループ発表準備）	事前学習	グループ内で発表の構成を考える。
		事後学習	発表できるように準備をする。
第 9 回	調査法（グループ発表）	事前学習	発表の練習をする。
		事後学習	発表内容を再度読み直す。
第 10 回	調査法（グループ発表）	事前学習	発表の練習をする。
		事後学習	発表内容を再度読み直す。
第 11 回	観察法（概要）	事前学習	観察法について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 12 回	観察法（行動分析）	事前学習	行動分析について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 13 回	観察法（図の作成）	事前学習	図の作成方法を調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 14 回	観察法（レポートの作成方法）	事前学習	レポートの構成を考える。

		事後学習	レポートを作成し提出する。
第 1 5 回	面接法（概要）	事前学習	面接法について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 1 6 回	面接法（分析方法）	事前学習	面接方法について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 1 7 回	面接法（実践）	事前学習	面接の予行練習をする。
		事後学習	面接で得られたデータをまとめる。
第 1 8 回	面接法（レポートの作成方法）	事前学習	レポートの構成を考える。
		事後学習	レポートを作成し提出する。
第 1 9 回	実験法（概要）	事前学習	実験法について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 2 0 回	実験法（種類）	事前学習	実験法の種類について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 2 1 回	実験法（統計的分析：概要）	事前学習	心理学の統計について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 2 2 回	実験法（統計的分析：t 検定・分散分析）	事前学習	t 検定・分散分析について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 2 3 回	実験法（統計的分析：相関分析・ χ^2 検定）	事前学習	相関分析・ χ^2 検定について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 2 4 回	実験法（統計的分析：重回帰分析・パス解析）	事前学習	重回帰分析・パス分析について調べる。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第 2 5 回	実験法（グループ決め）	事前学習	今までの講義資料を確認する。
		事後学習	グループで何を対象に実験するかを考える
第 2 6 回	実験法（グループ内打ち合わせ）	事前学習	グループで話し合った内容を再度確認する
		事後学習	グループでどのように実験するかを考える。
第 2 7 回	実験法（発表準備）	事前学習	データを収集する。
		事後学習	発表できるように準備をする
第 2 8 回	実験法（発表準備）	事前学習	発表の構成を考える。
		事後学習	発表できるように準備をする
第 2 9 回	実験法（グループ発表）	事前学習	発表の練習をする。
		事後学習	発表内容を再度読み直す。
第 3 0 回	実験法（グループ発表）	事前学習	発表の練習をする。
		事後学習	発表内容を再度読み直す。